

# JWTC NEWSLETTER

Vol.28 No.3 December 2008

## 安西美津子さん 「日本国際ツーリズム殿堂」入り

JWTC初代会長の安西美津子さんが「日本国際ツーリズム殿堂」入りされ、9月19日、世界旅行博会場において表彰式が行われました。

「日本国際ツーリズム殿堂」は、日本の国際ツーリズム産業の発展に多大な貢献のあった先人たちの偉業を称え、顕彰し、永く後世に伝えていくことを趣旨としており、今回が第2回目となります。安西さんは、5人のうちの1人で、また第1回目の兼高かほるさんに次ぐ女性として顕彰されました。

当日は、表彰式のほか、祝賀会も開催され、JWTCメンバーも数人お祝いに駆けつけて、安西さんと顕彰の喜びを分かち合いました。

また、JWTCは安西さんの殿堂入りを祝して、10月22日、新橋第一ホテルアネックス「トラットリア・ラ・パラランツァ」において、お祝いの会を開催しました。

会は戸井川会長の挨拶に始まり、2代目会長の鈴木光子さんから、お祝いのお言葉とともに、JWTCは2回目の会合から合流した安西さんを含め15人を発起人としてスタートした。当時は皆が暴れん坊で、活発な活動をしていたなどのエピソードをご披露いただきました。

最後に安西さんから、これまでのご自身の活動のご苦勞話に加え、「現在のJWTCはスマートになった。もっと皆で議論すべき」との叱咤激励のお言葉もいただきました。

当日は18名のメンバーが参加、80代の大先輩も遠方から駆けつけてくださり、先輩方からたくさんのパワーもいただいた充足した時間となりました。

坂本 友理 JWTC



お祝いの会にて、安西さん（前列中央）とJWTCメンバー



### 安西美津子さんの略歴

日本旅行業女性の会初代会長。1931年生まれ。昭和女子大学国文科卒。52年日本交通公社（現JTB）入社。80年にJTB初の女性支店長（虎ノ門支店）となる。86年からは教育事業に傾注し、96年まで交通公社教育開発で開発部長などを歴任。現在まで一貫して働く女性の地位向上に努め、公の場やメディアを通じて積極的に発言してきた。

「日本国際ツーリズム殿堂」HPより

### ■お祝いの言葉■

（敬称略）

安西さん、「日本国際ツーリズム殿堂」入りおめでとうございます。

安西さんは昭和女子大学光葉同窓会約7万人の会長として、同窓会の活性化に大きな実績をあげておられます。

私は総理府で公務員をしていた頃から働く女性の大先輩として存じ上げていたので、昭和女子大学でまたご一緒し、ふしぎな御縁に心から感謝しています。

現在では旅行業はたくさんの女性が活躍している分野ですが、安西さんと知りあった当時まで管理職、責任者の女性は少なく、注目を集めるパイオニアでした。そしてまだまだ女性は男性に気に入られなければならないと遠慮して言うべきことを言わない女性が多い中で、働く女性の立場からキチンと正論を言ってくださる方でした。

その一面優しく、愚痴をこぼさず、そして笑顔が多い素晴らしい女性で、昭和女子大学の卒業生・在学生にとって素晴らしいお手本です。ますますのご活躍を祈っています。

昭和女子大学学長 坂東 眞理子



この度の「日本国際ツーリズム殿堂」入りに対し、衷心よりお祝いを申し上げます。

JTBの多方面でご活躍を頂いた安西先輩が、本賞を受賞されたことはJTBグループの代表者として本当に嬉しく思います。

とりわけ、今回の受賞は、長年にわたりツーリズム産業のみならず業界を超えて日本の女性の地位向上にご尽力された賜物と思っております。

これからも、健康第一でご活躍をご祈念申し上げますと共に、後輩に対する叱咤激励も頂ければ誠に幸いです。

（株）ジェイティービー 代表取締役社長 田川 博己



安西さん、「日本国際ツーリズム殿堂」入りおめでとうございます。

鈴木光子さん、倉光さん、西島羽さん等、歴代の会長を含めた当時業界で先進的に活躍されていた女性の集いから1980年に誕生したJWTC。女性の社会的地位向上を求めてウーマンリブ運動の盛んな時代に初代会長を引き受けられ、8年間会長として業界の意気盛んな女性達をまとめ、男女雇用機会均等法施行にもJWTC代表として貢献され、JWTCの基盤を作られました。私より一世代先輩の女性達が活躍されている姿は私にとって大いに刺激となりました。

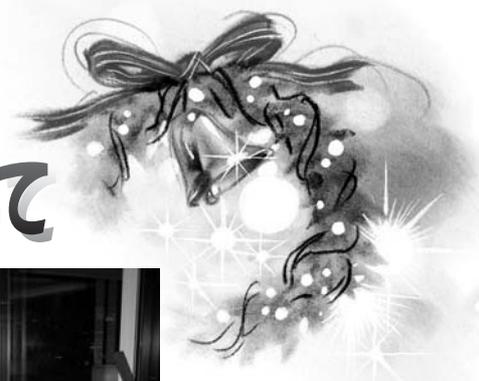
これからもお元気で常に後輩に刺激を与える存在でいていただきたいと思います。

JWTC第5代会長 木島 榮子



## 第2回 JWTC 勉強会

# 「ザ・ペニンシュラ東京」を見学して



2008年10月8日、第2回JWTC勉強会として「ザ・ペニンシュラ東京」見学会を実施しました。

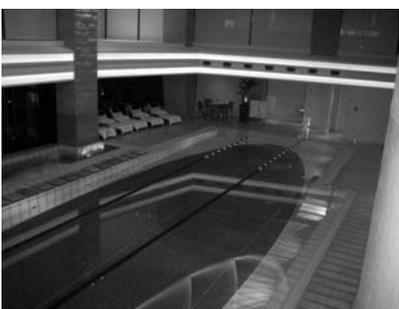
2007年9月1日にオープンした「ザ・ペニンシュラ東京」は皇居外苑と日比谷公園の向かい側に位置し、建築デザイナー・橋本夕紀夫氏が和の伝統技法を集約させて建築した地上24階・地下4階から成る日本最上級のホテルです。

客室は最多の54㎡デラックスルームをはじめ（ルームチャージ 税込75,075円）、スイートルーム、ザ・ペニンシュラスイート（ルームチャージ 税込981,750円）など、計314室あります。

エクゼクティブ・スイート（81㎡）115,500円、デラックススイート（116㎡）161,700円とデラックスルームは大変高価に思えますが、拝見したデラックススイートは広さもさることながら、皇居外苑を一望でき、ゲストのお客様対応としてリビングとベッセルームが扉で単独空間になる、さらにゲスト用のお手洗も客室内に準備しているなど、お客様が快適に過ごせる仕様となっていることを考え合わせると、あながちびっくりしない金額設定だなというのが感想です。

基本的にはどの部屋も木のぬくもりを基調としており、細部にまで温かみを感じられました。

一方、機能は最先端で、客室内で外気温・外湿度が分かる温度計、110V/220V対応電圧システム、パーソナルFAX・プリンターを配備、そして電話に至っては子機が持ち歩きサイズで館内での送受信が可能（外部に出た際は送信のみ利用可能）。シャワールームの電話はハンズフリーで、水の音などが通話の邪魔にならないよう電子化されるシステムになっています。またドレッシングルームはウォークインクローゼットと合体しており（デラックスルーム以上）、ネイルドライヤーも完備で女性にとってうれしい限りです。靴磨きサービスも無料で行っているそうです。



ホテル内の20mプールでは、皇居外苑と日比谷公園を眺めながらの優雅なひとときが過ごせます。

レストランは広東料理「ハイフンテラス」の入り口を拝見しましたが、香港のような造りで、料理長も元ペニンシュラ香港料理長と聞き、一度伺いたくなりました。

そのほかに最上階の「PETER」・「ザ・ロビー」・「京都つるや」があります。特に「ザ・ロビー」は毎日、アフタヌーンティーに訪れるお客様が多く、週2回のジャズナイトもペニンシュラの目玉とのことです。

そのほかに最上階の「PETER」・「ザ・ロビー」・「京都つるや」があります。特に「ザ・ロビー」は毎日、アフタヌーンティーに訪れるお客様が多く、週2回のジャズナイトもペニンシュラの目玉とのことです。



施設概要の羅列となってしまいましたが、「お客様のためのお客様のホテル」ということを強く感じました。

ぜひお客様に薦めていきたいと思えます。

この度は見学会に出席させていただき、誠にありがとうございました。 事業部 市川 淳子 ケイライントラベル㈱

### ◆参加された皆様のご感想◆

●部屋を仕切る一枚板のドア、漆塗りのテーブル、綱代の天井、ネイル乾燥機など施設は細部に至るまでさすがペニンシュラと感じ入りました。都心にありながら眺望も良いですね。説明をしてくださったセールスマネージャー大滝理子さんがとても感じのいい方でした、彼女は説明に一生懸命さがあり、かつ分かりやすかったと思います。

集合場所の会議室にドリンクまで提供していただいてホテルの配慮に感謝します。ビジターもたくさん来てくださってよかったです。 長野久絵

●お疲れ様でした。食事会に参加できずすみませんでした。ビジターで参加した当社のスタッフも大変喜んでおりました、ありがとうございました。

ドリンクサービスの際に中村さんかホテルの人からオープン当時の苦労話や現在の状況、PRなど一言いただいてもよかったです。 高山澄子

●今回のホテル見学でどんなホテルかが分かり、大変勉強になりました。ペニンシュラ東京は最新客室アメニティーや部屋の開放感等とても魅力的でした。同じホテル業界として負けないように頑張りたいと思います。 (ビジター)

●客室の印象はインテリアに和のテイストをふんだんに使用していて、色合いもブラウンが使用されていて、落ち着いた感じを受けました。廊下など共有スペースも広くゆったりとしてレストランもとても落ち着いた印象。スイートの料金も良心的。スパはもう少し料金設定を下げてほしいです。 竹田久美子

●スタンダードルームも十分に広く、和を取り入れた落ち着きがあります。スイートは日比谷公園、皇居の眺めが一番のご馳走。ロケーションは抜群でホテルライフを楽しめます。

ホテル見学は楽しめました。

阿部初枝

# “夢”と“感動”は 不変のテーマ

JWTC 第2代会長 鈴木光子



母校のテニスコートで、50年来のパートナーと

スイス政府観光局を定年退職してから  
ほぼ10年、当時流行りのSOHOとして  
スタートさせたオフィス・ロマンディー  
は、約7年間、スイスのレマン湖地方、  
ヴァレー地方、ジュネーブと、フランス  
語圏ばかりのレップをやりました。

3年前にそれも清算し、今は、やり残  
したことを自分なりの力でやり遂げよう  
と没頭しています。

そのひとつは、『いとしのエラ』という  
本の翻訳出版であり、もうひとつは、短  
大で教鞭をとることです。前者について  
は改めてご報告することにしますが、教  
育は長年興味を持ってきたことでした。

\* \* \*

短大は甚でも言われるように、次第に  
数を減らして、実態は専門学校に近  
く、就職がつねに射程内にあります。

教えている科目は、「観光ビジネス実務  
概論」(1年生)と「旅と交通」(2年生)  
ですが、近頃の旅行業界の急激な変化を  
見るにつけ、自分が教えている業界の環  
境が、このまま続くのだろうか心配に  
なります。

「この子たちが社会に出た時、自分が旅  
行業界で経験してきた希望にあふれる状  
況は、もうなくなっているのではない  
か? ほんとうに、この厳しい業界へ向  
けて彼女たちの背中を押しても良いもの  
だろうか?」

そんな時立ち返るのはいつも、旅は夢  
と感動を与える職業だという、昔からの  
基本です。

生徒たちに、スイスを題材として、好  
きな旅程を作らせてみました。もちろん、  
マッターホルンとかユングフラウなどの

有名観光地は、念入りに説明したあ  
との作業です。

驚くことに、彼女たちは、こうし  
た有名地を避けるように、自分たち  
の感性に合う、メルヘンとかエステ  
とかを上手に観光地の中から選び出  
していました。きわめて健全な感性  
を持つと思われるこうした若者たちを、  
「旅離れ」させないためには、業界の中で、  
若い世代にもっと主導権を与えるべきだ  
と思わされます。

業界の先覚的な女性15名を発起人と  
したJWTCも、すでにスタートからほぼ  
30年。当時の1980年代は、旅行業界  
でも女性の進出が目覚ましい時期でした。

そしてその頃は、業界全体が何と輝い  
ていたことでしょうか! すべてが上昇気運  
に乗り、女性の活躍にはとりわけ温かい  
応援の拍手が寄せられていました。

しかし、渡航自由化から半世紀近くを  
経て、今や旅行業界のみならず、産業界  
全体は、厳しい現実と直面しています。  
ひとつの歴史の転換期かも知れません。

JWTCも、自己研鑽とネットワークの  
基本に立ち返り、時代を反映した新しい  
姿で発展することが必要と思います。

\* \* \*

さて一方、自分も「古稀」を目前にす  
ると、「死」というものがさほど遠いこ  
とには感ぜられず、そこから逆算して人生  
を考え始めるのも事実です。

かくして、いまを元気に健康に生きる  
ことが、今の大切な仕事になっています。

前回からバトンタッチした木島さんと  
ご一緒のテニスは、数カ月に1度という  
ペースですが、同じテニスクラブの仲間

たちは、1週間に1度はコートを走り  
回っています。その他に、週に2回は水  
泳です。

「華の会」という、元オリンピック選手  
の田中聡子さんが、高齢で職業を持つ女  
性のために主宰する会で、発足時には、  
JWTCから、安西初代会長、倉光4代会  
長の他、たくさんのメンバーが参加して  
いました。いまでは私ひとりが残って、  
JWTCの伝統と心意気をつないでいま  
す。お蔭さまで、浮くのがやっとだった  
のが、1000メートルも泳げるようにな  
りました。

\* \* \*

年をとってから、意外に体力と反比例  
するもののひとつに、想像力があります。  
旅に出られなくても、想像の旅はできま  
す。そんな時、いままで培ったJWTCで  
の経験、友人たち、知識などが頭の中に  
豊かな想像の世界を創出してくれるよう  
です。

次は、俳句の会で一緒にいて、こ  
の秋に「日本国際ツーリズム殿堂」入り  
した、安西美津子さんにバトンタッチし  
たいと思います。安西さんは、JTB出身  
者を中心とする東山句会の大蔵大臣でも  
あります。

安西さん、よろしくお願ひいたします。

## 【皆様の声】

今後のJWTCイベント・勉強会等への希望について伺いました。

- ☆ビジターの関心をひくような企画がいいですね。パブリシ  
ティーの効果もなかなかと思いましたので、今後もあちこちで  
JWTCの勉強会を宣伝すると思います。 長野 久絵
- ☆エジプトのお話などいかがでしょう。 田辺真利子
- ☆ワインセミナーやアフタヌーンティーをしながら懇親会を希望  
します。 坂本 康子
- ☆コミッション対応策の勉強会。 市川 淳子

## JWTC2008年度総会のご案内

第29回総会を下記の通り開催します。

日時：2009年2月21日(土) 13時30分より

会場：東京ウィメンズプラザ(表参道)

※総会終了後、懇親会も予定しています。  
詳細は追ってお知らせいたします。



〈勉強会報告〉

## 中国の現状と ディスティネーションセミナー海南島

日 時：平成20年11月11日（火） 12：00～14：00

講 師：(株)ピコ 代表取締役 戸井川裕美子氏

会 場：キャッスルプラザホテル 参加者：10名

今年最後の勉強会に、JWTC会長 戸井川氏を講師に迎え、中国の現状と海南島について話していただきました。

中国との国交回復以来、中国への渡航者数は右肩上がりの成長を続けていましたが、政治的・社会的問題が発生するごとに大きく数字を落としました。その都度「平和の大切さ」を痛感されたそうです。いろいろなトラブルが発生しますが、中国3000年の歴史から見たらわずか一時のこと。感覚の違いはあれど、長い歴史のある中国は大きな目で見ることが必要であるとの話に、うなずきました。

海南島は、美しい海と自然が魅力の中国の代表的リゾート地です。海南島で一番最も美しい亜龍湾には数多くのホテルが立ち並び、マリンスポーツ、豊富な食材で観光客を魅了します。

日本からの直行便は今のところチャーター以外無く、名古屋発は広州乗り換えになり、移動に1日掛かります。また、「ちょっとそこまで……」と出歩くことが難しいですが、目的と予算に応じたホテル選びと、お客様のニーズに応じた手配をすることで、ファミリー・若者・熟年夫婦など、幅広い層を取り込むことが可能なディスティネーションです。

昔のような男性天国ではなく、いろいろな楽しみ方が増えたことを学ぶことができました。特に亜龍湾のビーチリゾートは、海南島を知らない若い世代にも十分アピールできると思います。まずは認知度を上げることが我々旅行会社の使命でしょう。

その際、正しい情報を提供することも重要です。「東洋のハワイ」とも言われますが、実際に渡航した方から「ハワイとは言いすぎだ」という声もありました。ハワイの代わりではなく、海南島は海南島としての独自の魅力を伝えていきたいと思っています。

戸井川会長・田辺副会長にお会いできて大変光栄でした。 狩野知保 HIS



編集  
後記

本格的に寒さが厳しい季節になりました。こんな寒い時期には暖かい国へ飛んでしまいたい！と毎年冬になると思います。

世間は驚くほどの円高で日本人旅行者にとっては有利なはずですが、今年も昨年に引き続き年末年始の海外旅行の申し込みは伸び悩んでいるようで…。

今年は『大恐慌以来最悪の世界不況』と呼ばれるほど不況のニュースが続きましたが、イルミネーションで街が輝くこの季節くらいは嫌なお話は忘れたいものです。12月からはクリスマスを筆頭にイベントが盛りだくさん。楽しみながら年を納めたいですね。

来年も皆様にとって良いお年になりますように。世間から不況という文字が消えますように。そして旅行に行く人々が増えますように……。

皆様ご多忙の中、本年もイベントへのご参加、ご意見・アンケートの寄稿、誠にありがとうございました。編集後記の場を借りて御礼申し上げます。

どうぞ皆様、良いお年をお迎えくださいませ。(S)



## □総務部□

- 総会スケジュールについて
- 30周年（2010年）に向けての費用捻出について

## □広報部□

- ニュースレター8月号の発行報告
- ニュースレター12月号は12月18日発行予定

## □事業部□

- 第2回勉強会「ザ・ペニンシュラ東京 ホテル見学会」の報告
- 「安西さんお祝いの会」10月22日のプログラム報告

## □会員部□

- 2008年ハンドブック作成完了
- 会員数：10月16日現在68名
- 6月開催親睦会報告

## □その他□

- メディア対策について
- 30周年に向け、副会長を2名体制に
- 2009年度の各部の活動案について

## ♪ JWTC 会員のための得々情報 ♪

### 観音崎京急ホテルの レディースプラン

観音崎京急ホテルでは2009年3月31日までお得なレディースプランを展開中です。

<http://www.kannon-kqh.co.jp/index01.html>

このプラン（レディースプラン）でご予約のお客様には、ご予約時にスイートルームに空室があれば、差額なしでアップ・グレードさせていただきます。（通常は、差額料として、お1人様3000円、1室6000円頂戴しております）

その他の特典は、以下の通りです。

1. フルーツの盛り合わせ
2. アメニティグッズプレゼント
3. レイトチェックアウト14：00
4. アユアラン40%OFF優待券

皆様のご利用をお待ちいたしております。

ご予約は

観音崎京急ホテルまで ☎ 046-841-2200

\* その際に、JWTCのメンバーである旨お伝えください。

